

第204回（令和3年11月28日施行）

2級工業簿記

第1問

直接材料費、直接労務費、間接材料費、間接労務費、間接経費に該当する具体的な費用などを選択する問題です。

第2問

製品の製造と販売に関する仕訳問題です。

4の仕訳についてですが、賃借料を支払った場合、賃借料勘定で処理するのが通例ですが、製造原価としての賃借料であれば経費勘定で処理することもできます。また、賃借料は間接経費であるため製造間接費勘定で処理することも可能です。そして、今回の問題では、指定された勘定科目から、製造間接費勘定にて処理する方法が正答となります。

第3問

単純総合原価計算を想定し、材料費と加工費の勘定ボックスを用いて完成品総合原価と月末仕掛品原価を計算する問題です。

第4問

勘定記入や勘定間の振り替えを理解しているかを問う問題です。

エの振り替えについてですが、水道料を水道光熱費勘定で処理し、その後、間接経費であるため製造間接費勘定へ振り替える方法もありますが、今回の問題では、水道光熱費勘定から経費勘定へ振り替え、その後、製造間接費勘定へ振り替える方法、もしくは、水道料を経費勘定で処理し、その後、製造間接費勘定へ振り替える方法が想定されています。

第5問

個別原価計算を想定した原価計算表を作成する問題です。